

第5回

柴又地域統合小学校改築懇談会

令和7年3月19日（水）

本日の進行

1. 第4回グループワークの振り返り
2. 新校舎ゾーニング（諸室配置 等）について

1. 第4回グループワークの振り返り



葛飾区 柴又地域統合小学校改築懇談会グループワーク 第4回 開催報告 令和7年2月17日(月)19:00~20:30 東柴又小学校体育館

柴又小学校と、東柴又小学校が統合して新たに誕生する小学校について、グループワークゾーニング案について意見を反映していくための懇談会の第4回を開催しました。

第4回の懇談会のテーマ

「新たな小学校のグループワークゾーニング案について」

参加者：学校関係者
住民代表の皆様

第4回グループワーク概要報告

ゾーニング案についての意見

前回のグループワークでの意見を踏まえて、再検討したゾーニング案について、良いところ・気になるところについて、意見を出し合いました。



◆ 1階・校庭

良いところ 気になるところ 工夫してほしいところ

全体

- ・体育館が北に移動したため、南側を有効に使えるプランになった
- ・階段が増え動線がでか全体的に使い勝手が良くなった

入口・門

- ・通学時の安全確保のため、誘導員をしっかり配置してほしい
- ・人感センサーを導入し、セキュリティ性能を強化してほしい
- ・門はスライドや観音開き等使いやすく十分な間口を確保した仕様を検討してほしい

地域の人も使えるゾーン

- ・地域の利用するゾーンがまとまっているのは良い
- ・PTAの荷物が多いため荷物用の専用スペースがあっても良い

交流ホール

- ・柴又小・東柴又小の歴史や記録の展示スペースは必要

特別教室

- ・図工室は荷物をたくさん運ぶので、1階なのは便利
- ・作業ができるテラスがあるのはよい

芝生広場

- ・芝生広場の日当たりがどうか東側に校舎があるので影にならないか（植物を育てたりする場所として使えるか）

近隣住宅への配慮

- ・周辺への防音対策が必要（登校時、芝生広場利用時）

畑

- ・柴又は米農家さんが多いので畑を作れば地域教育にもなる（教育のために柔軟に使えるような場所にしてほしい）



多目的室

- ・学年単位での活動場所として使いやすい
- ・視覚音響的な使い方ができると良い
- ・区切って使えると良い
- ・選挙の時に北側から直接入れるなど利用しやすくしてほしい

給食室

- ・給食室の広さが適切か、調理員の意見を聞く必要がある
- ・業者の搬入出の音や機械・モーター・室外機の騒音が近隣に響くので防音対策が必要ではないか
- ・においや音の問題があるので、保健室からは離れた方がよい

学童・わくチャレ

- ・学童の前で外遊びができる場所が必要（今は学童前の芝生広場で遊んでいる）
- ・学童とわくチャレは運営が異なり、責任の所在を明確にする必要があるので活動場所は分けたい、離れていた方がよい
- ・校庭の分け方に検討が必要（コーン又はフェンス設置が等）
- ・給食室は午前で作業が終わり、学童・わくチャレは放課後の活動であるため、昼過ぎは特別支援学級あたりの人が非常に少なくなる（大人、先生の目が届くようにしてほしい）
- ・わくチャレの人員確保が大切

特別支援学級

- ・特別支援学級は5クラス分必要ではないか
- ・特別支援学級は、特別教室と階を分けた方がよい
- ・特別支援学級近くのトイレはバリアフリーにしてほしい

バスの停車スペース

- ・プールに行くためのバスが停められる場所が必要（セットバックして車寄せにするか）

校庭

- ・トイレと倉庫（外部から直接アクセスできる倉庫、学校の備品と区別して保管できる倉庫）があった方がよい
- ・シャワー、更衣室もあると良い
- ・△の部分など、校庭の一部を芝生にしてはどうか（芝生広場の代わりに遊べる場所とするため）

1. 第4回グループワークの振り返り

◆ 2階

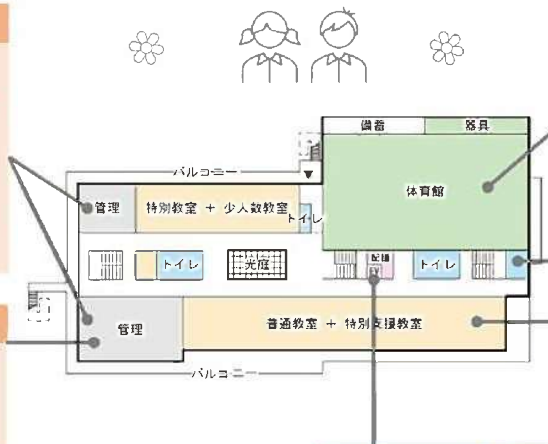
良いところ 気になるところ 工夫してほしいところ

管理室（校長室・事務室）

- ・校長室と職員室は近い方がよい（離れているのは寂しい）
- ・北側の「管理」は校長室ではなく、印刷室と事務室にするのはどうか
- ・事務室は外の業者の対応をする機会が多いため、アクセスしやすい方がよい
- ・施設開放時の地域開放用の窓口が必要
- ・職員室付近に機密情報を置いて、地域がアクセスしやすいところに鍵を置くなど運営の工夫をしてほしい
- ・職員の常駐する部屋は昇降口側だけでなく、入口・門の様子を確認できるように北と東にもあるとよい

職員室

- ・2階にあれば上にも下にも行けるメリットはある（担任の先生からは1階が良いという声が多い）
- ・職員室は1階、2階どちらにも良いところと悪いところがある
- ・教育相談室は、給食室の前より西側の方が静かではないか



体育館

- ・災害時の本部になる校長室と職員室が体育館と同じフロアなのが良い（適度に離れているのも良い）
- ・備蓄倉庫の場所が良い（出入口に近い）
- ・シャワー室があっても良いのではないか（北野小にはあるらしい）
- ・バレーボールコート2面くらいの広さがあると良い

更衣室

- ・更衣室は使わないのではないか（あれば何かに使えるか）

特別教室・少人数教室

- ・管理備品はしっかり収納できるようにして、教室は教室として使えるようにしてほしい
- ・少人数教室は状況に応じて柔軟に使いたい

倉庫

- ・倉庫は足りるか（たくさんつくってほしい）

エレベーター

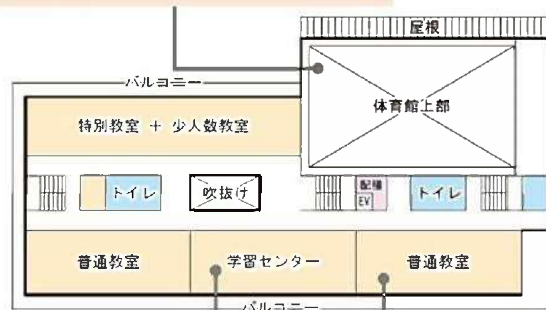
- ・給食専用のエレベーターがあると良い
- ・EVは避難時に車イスなども利用できるようにしてほしい



◆ 3階

キャットウォーク

- ・キャットウォークを整備し、3階から直接入れるようにしてほしい



学習センター

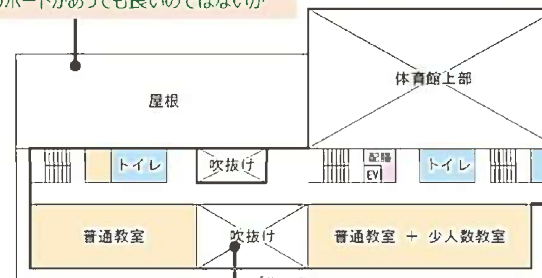
- ・吹き抜けがある学習センターは良い

普通教室

- ・普通教室は、可動式の仕切りなどで将来的に柔軟な利用ができるようにしてほしい

屋上

- ・洪水時の避難のためにも屋上に出られるようにした方がよい（平時は出入り禁止にしても良い）
- ・緊急時用のヘリポートがあっても良いのではないか



吹き抜け

- ・教室や管理室で使った方がよいのではないかと

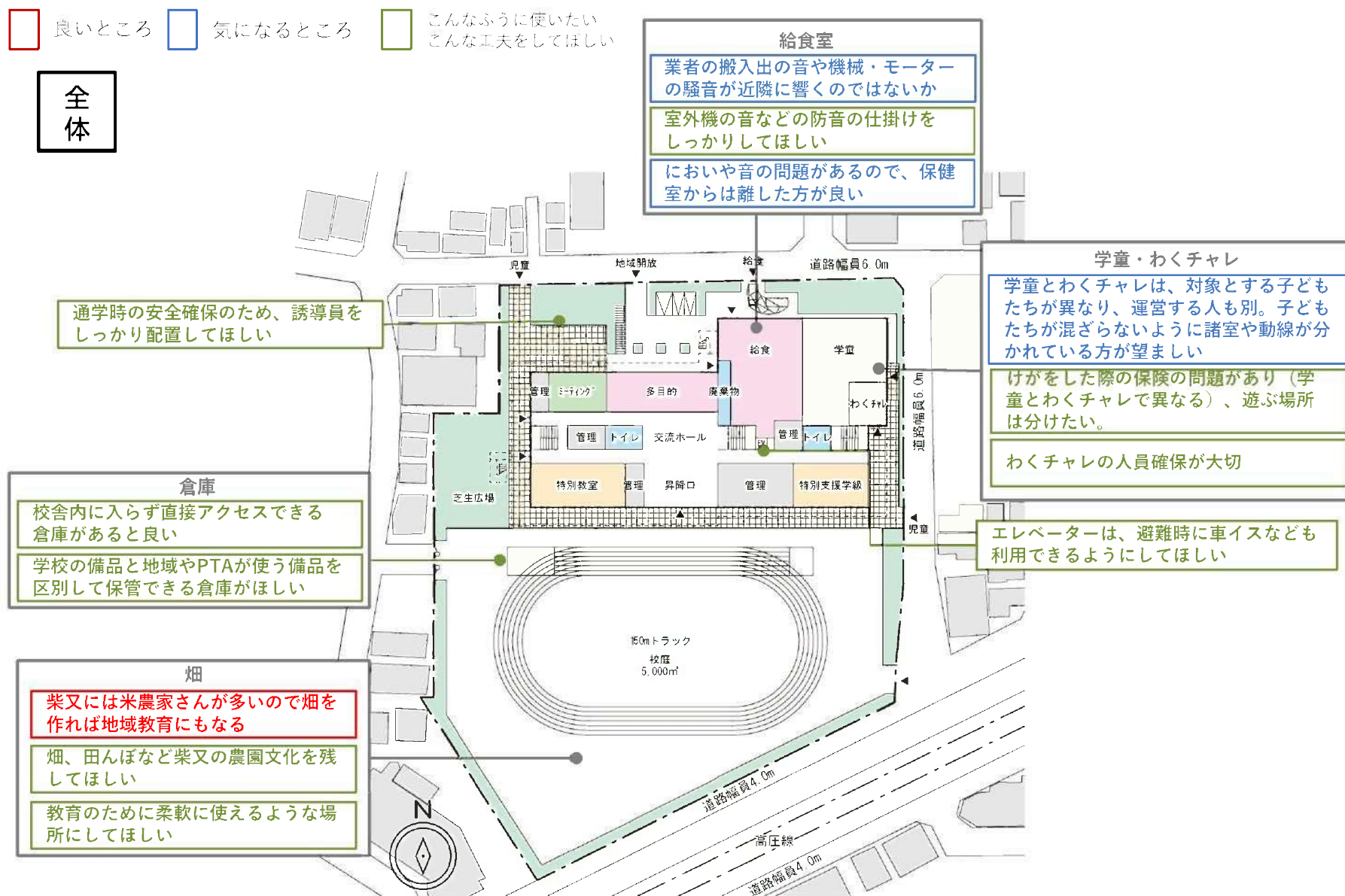
子どもが落ち着くための部屋

- ・落ち着かない子がクールダウンに使えるところがあると良い
- ・子どもが一人になれるところをどこにつくるか検討が必要



1. 第4回グループワークの振り返り

第4回 柴又地域統合小学校改築懇談会グループワーク【Aグループ】



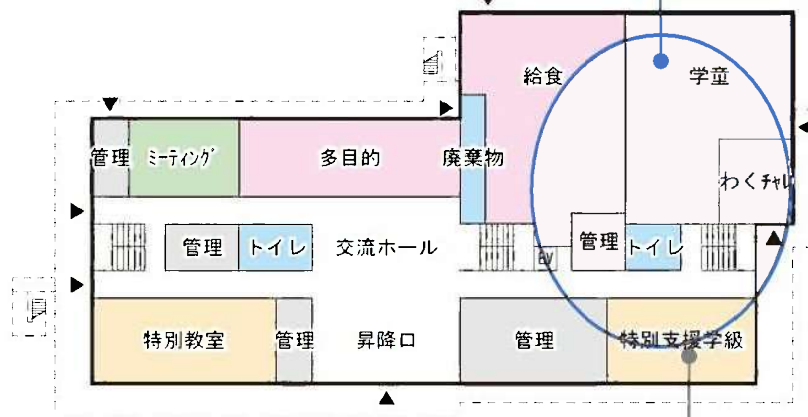
1. 第4回グループワークの振り返り

第4回 柴又地域統合小学校改築懇談会グループワーク【Aグループ】

□ 良いところ
 □ 気になるところ
 □ こんなふうに使いたい
 こんな工夫をしてほしい

1階

特別支援学級は、周辺に人の目があることが重要。給食室は午前で稼働が終わり、午後から人がいなくなる。学童・わくチャレは放課後しか使用しない
 午後はほとんど人がいないゾーンに特別支援学級があることが少し心配。

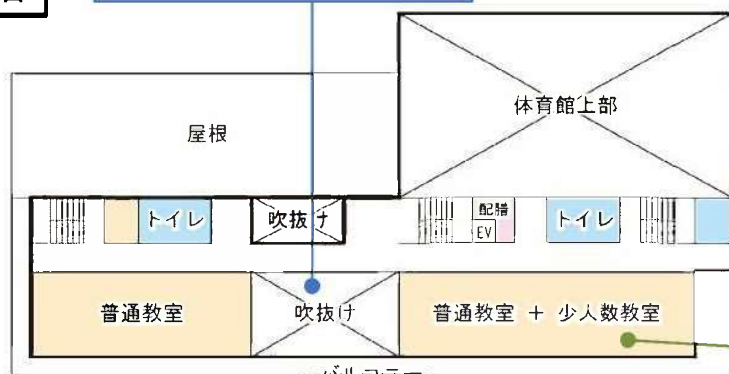


特別支援教室

特別支援学級は大人、先生の目が届くようにしてほしい
 特別支援（さくら学級）近くのトイレはバリアフリーにしてほしい
 特別教室と、特別支援学級は階を分けた方が良い

4階

教室や管理室で使った方が良い



2階

事務室では外の業者の対応をする機会も多いため、アクセスしやすい方が良い



地域開放用の出入口

施設開放時の地域開放用の窓口が必要

鍵は利用者がアクセスしやすいところに鍵を置いてほしい（機密情報は地域開放用のエリアから離れたところで管理してほしい）

バレーボールコートが二面とれるくらいの大きさがあると良い

職員室

2階にあれば上にも下にも行ける
 メリットはある

職員室は1階、2階どちらにも良いところと悪いところがある

担任の先生からは、職員室は1階が良いという声も一定程度ある

普通教室

普通教室の間を可動式にするなど将来的に柔軟な利用ができるようにしてほしい（児童数が減ったときに多目的に使えるなど）

管理備品の収納を十分に確保し、教室は教室として使えるようにしてほしい

少人数教室は状況に応じて柔軟に使いたい

1. 第4回グループワークの振り返り

第4回 柴又地域統合小学校改築懇談会グループワーク【Bグループ】

□ 良いところ
 □ 気になるところ
 □ こんなふうに使いたい
 そんな工夫をしてほしい

全体

全体的に使い勝手が良くなった

階段が増えて動線が便利になった

芝生広場

芝生広場で子どもが遊ぶと
うるさいかもしれない

西側住宅への音の配慮が必要
(使い方や防音対策を検討が必要)

芝生広場の日当たりはどうか
東側に校舎があるので影にならないか
(植物を育てたりする場所として使えるか)

校庭

△の部分など、
校庭の一部を芝生にしたらどうか(芝生広場の
代わりに遊べる場所にしたらどうか)

給食室

給食室は広すぎないか
(大きさとして適切か)

給食室の広さが適切かについては、
調理員の意見を聞く必要がある

学童・わくチャレ

学童で外遊びができる場所が
必要(今は学童前の芝生広場で
遊んでいる)

学童の前に広場があると良い
(今の広さが目の届くちょうど
良い広さ)

校庭を使うならわくチャレと
学童でエリアを分けて使いたい
(責任の所在を明確にする必要
がある)

どのように分けるか検討が必要
(コーンを置くかフェンスをつ
けるか等)

教育相談室は、給食室の前ではなく、
西側の方が静かではないか

プールに行くためのバスが
停められる場所が必要
(セットバックして車寄せ
にするか)

150mトラック
校庭
5,000㎡

道路幅員4.0m

高圧線

道路幅員4.0m

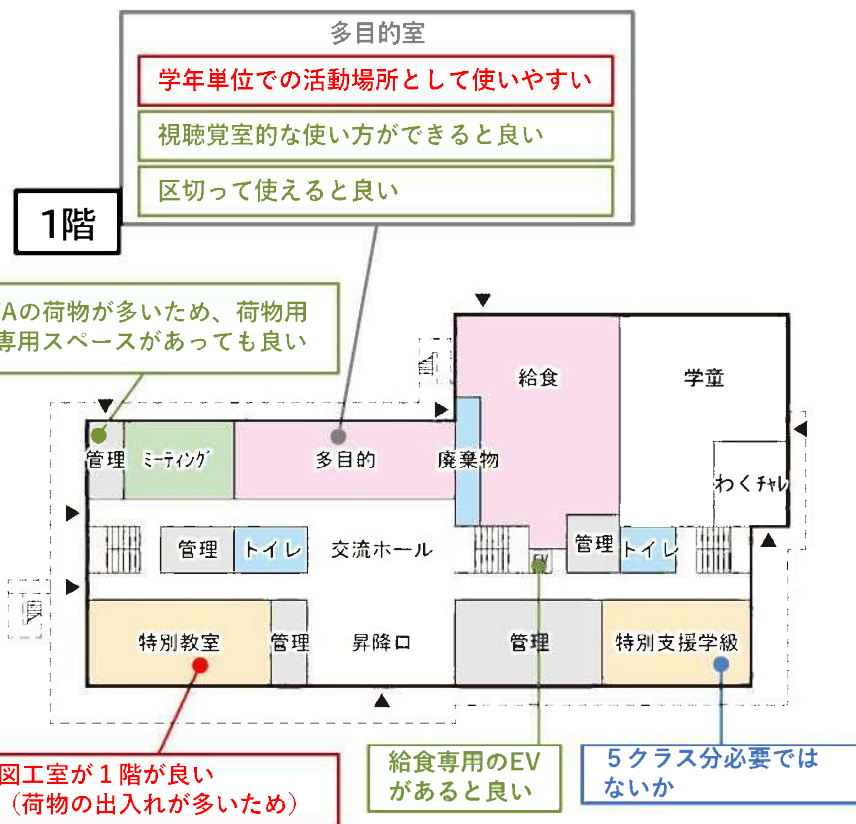


1. 第4回グループワークの振り返り

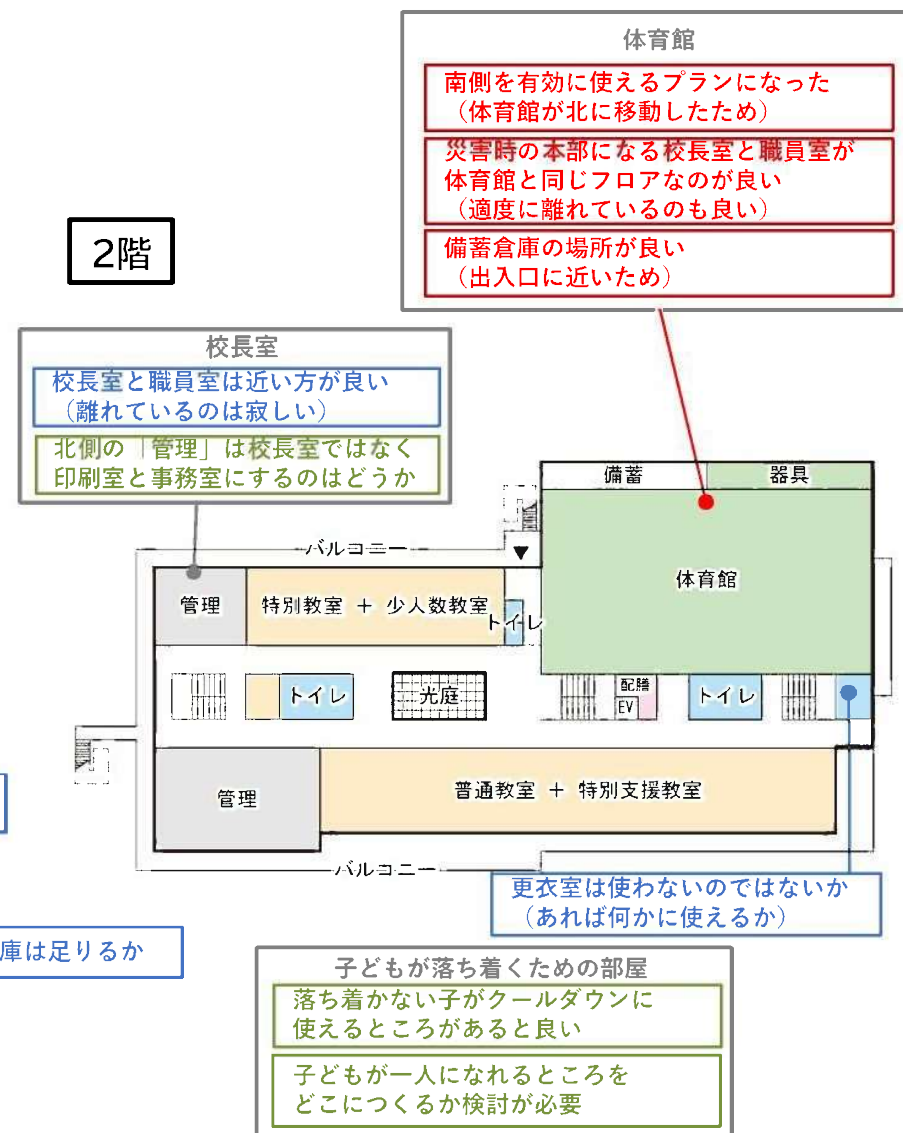
第4回 柴又地域統合小学校改築懇談会グループワーク【Bグループ】

□ 良いところ
 □ 気になるところ
 □ こんなふうに使いたい
 そんな工夫をしてほしい

1階



2階



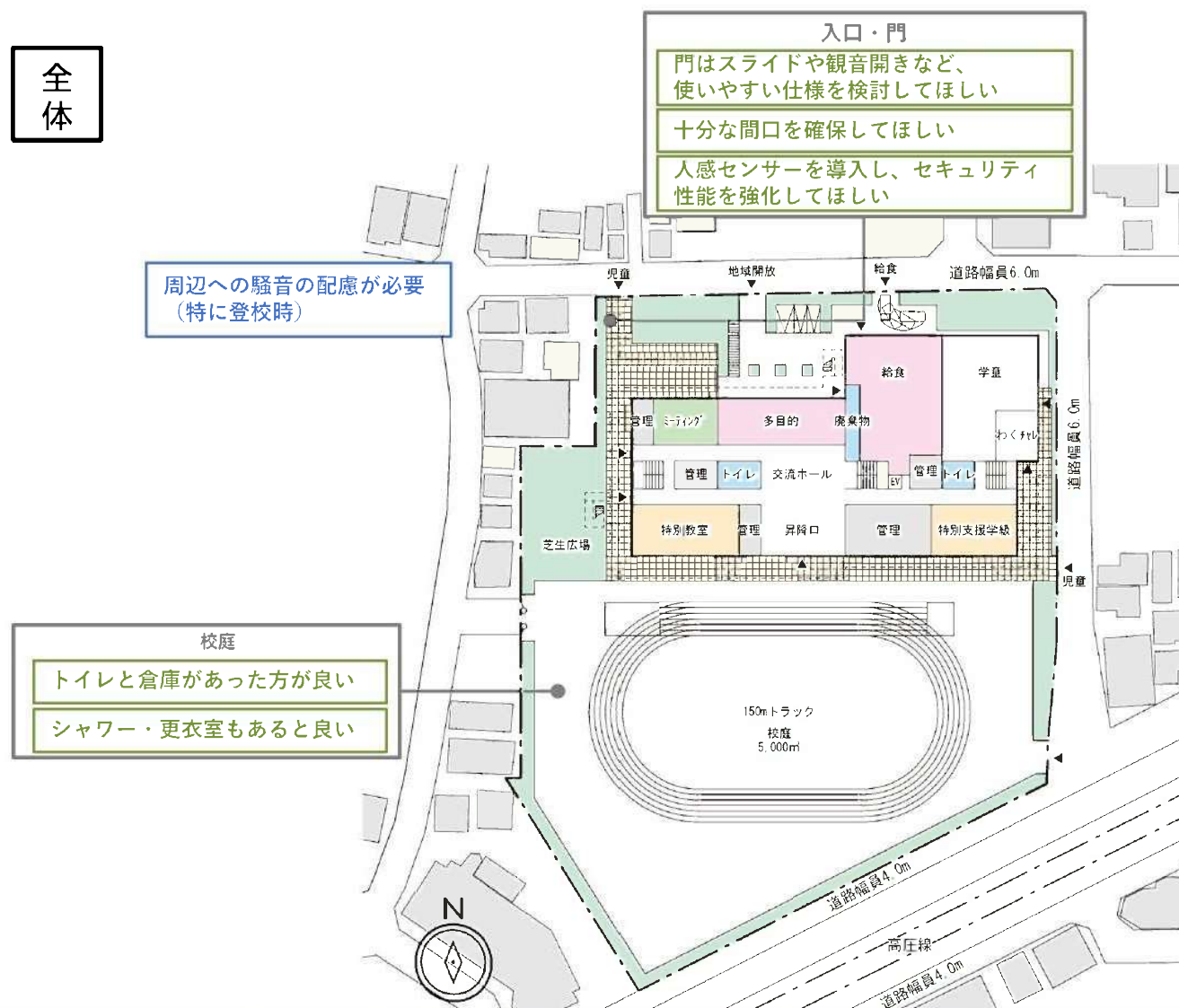
倉庫は足りるか

1. 第4回グループワークの振り返り

第4回 柴又地域統合小学校改築懇談会グループワーク【Cグループ】

□ 良いところ □ 気になるところ □ こんなふうに使いたい
□ こんな工夫をしてほしい

全体



1. 第4回グループワークの振り返り

第4回 柴又地域統合小学校改築懇談会グループワーク【Cグループ】

□ 良いところ
 □ 気になるところ
 □ こんなふうに使いたい
 そんな工夫をしてほしい

1階

地域の利用するゾーンが
まとまっているのは良い

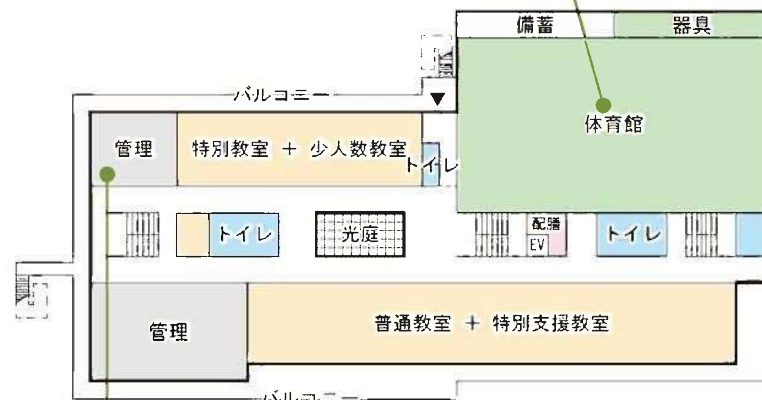
選挙の時にアプローチしやすい多目的室に
してほしい（北側から直接入れるなど）



柴又小・東柴又小の歴史や記録を展示できる
スペースは必要

2階

シャワー室があっても良いのでは
ないか（北野小にはあるらしい）

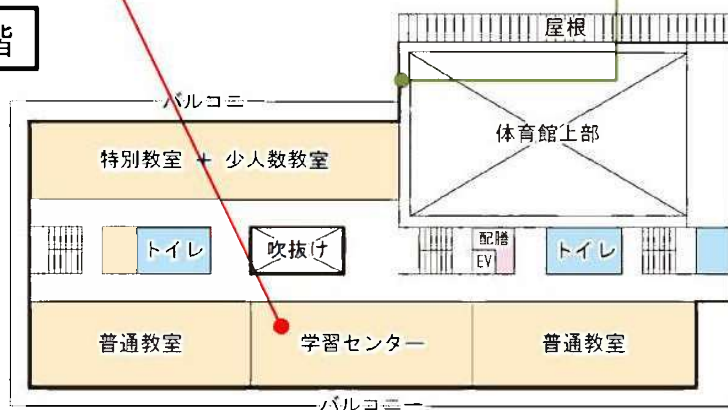


職員の常駐する部屋は昇降口側だけでなく、
入口・門の様子を確認できるように北と東にもあると良い

3階

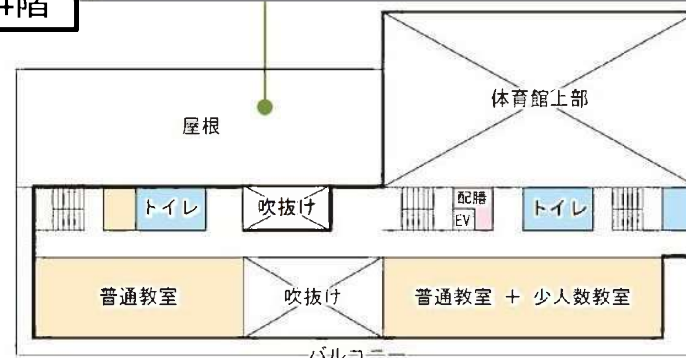
吹き抜けがある学習センターは良い

キャットウォークを整備し、
3階から直接入れるようにしてほしい



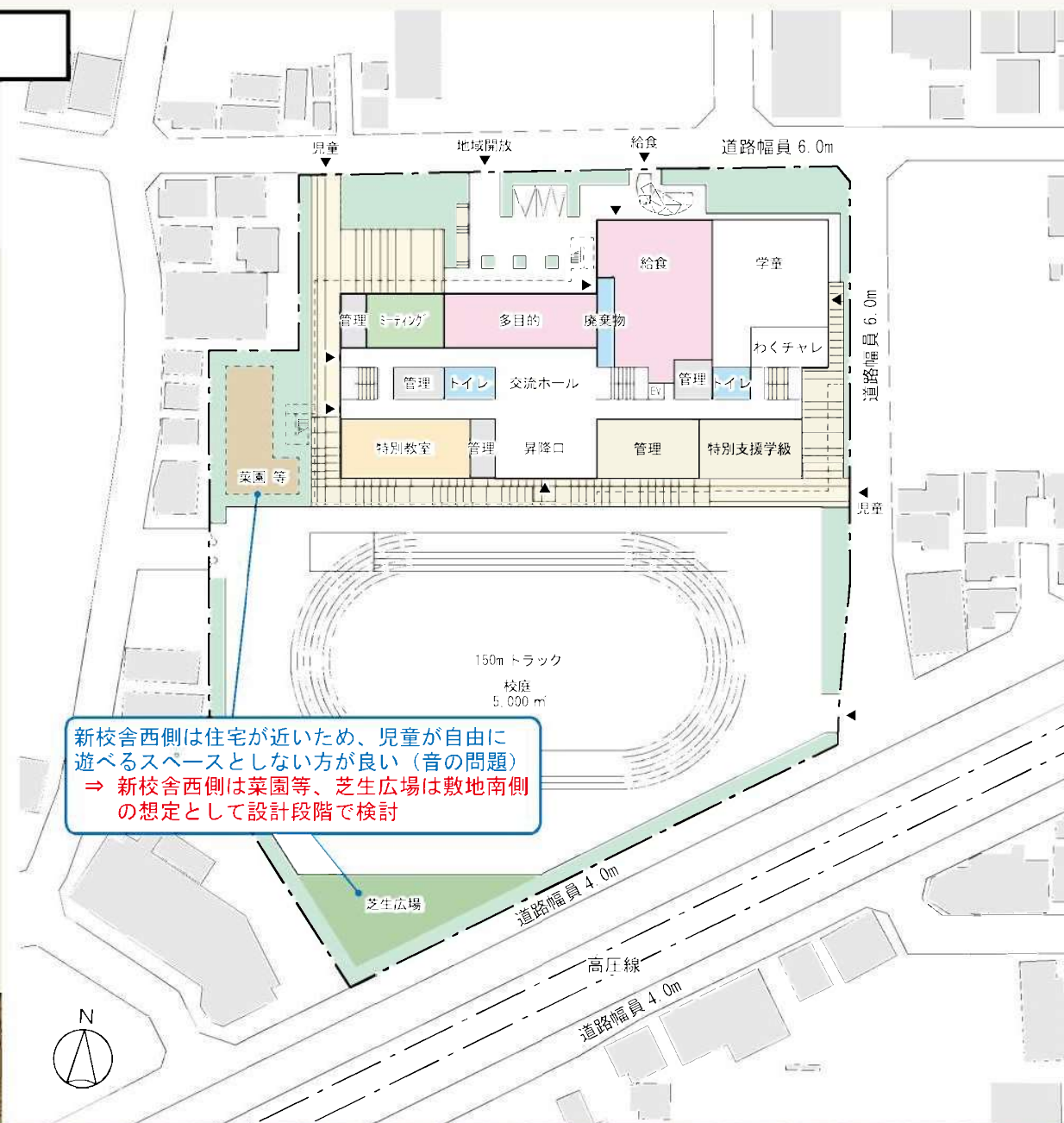
4階

屋上
洪水時の避難のためにも屋上に出られるようにした方が良い
（平時は出入り禁止にしても良い）
緊急時用のヘリポートがあっても良いのではないか



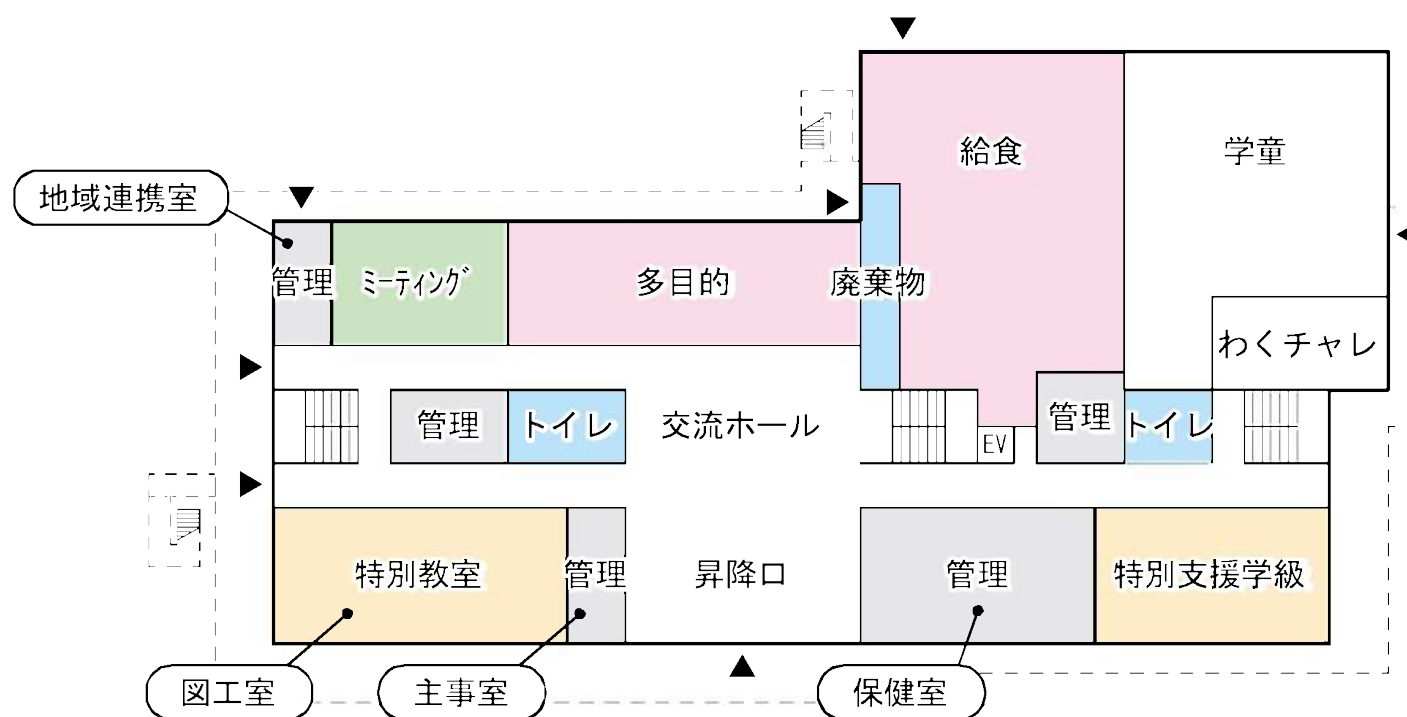
2. 新校舎ゾーニング（諸室配置 等）について

全体



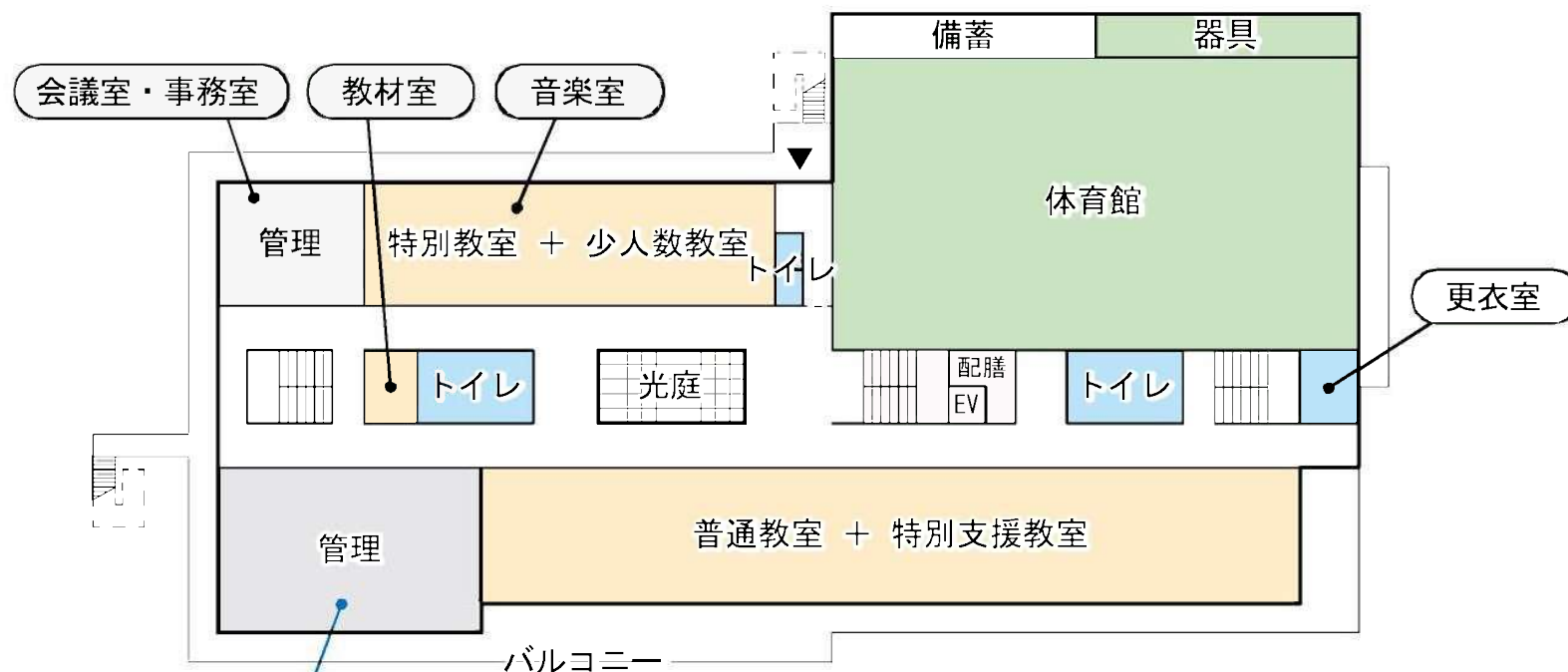
2. 新校舎ゾーニング（諸室配置 等）について

1階平面図



2. 新校舎ゾーニング（諸室配置 等）について

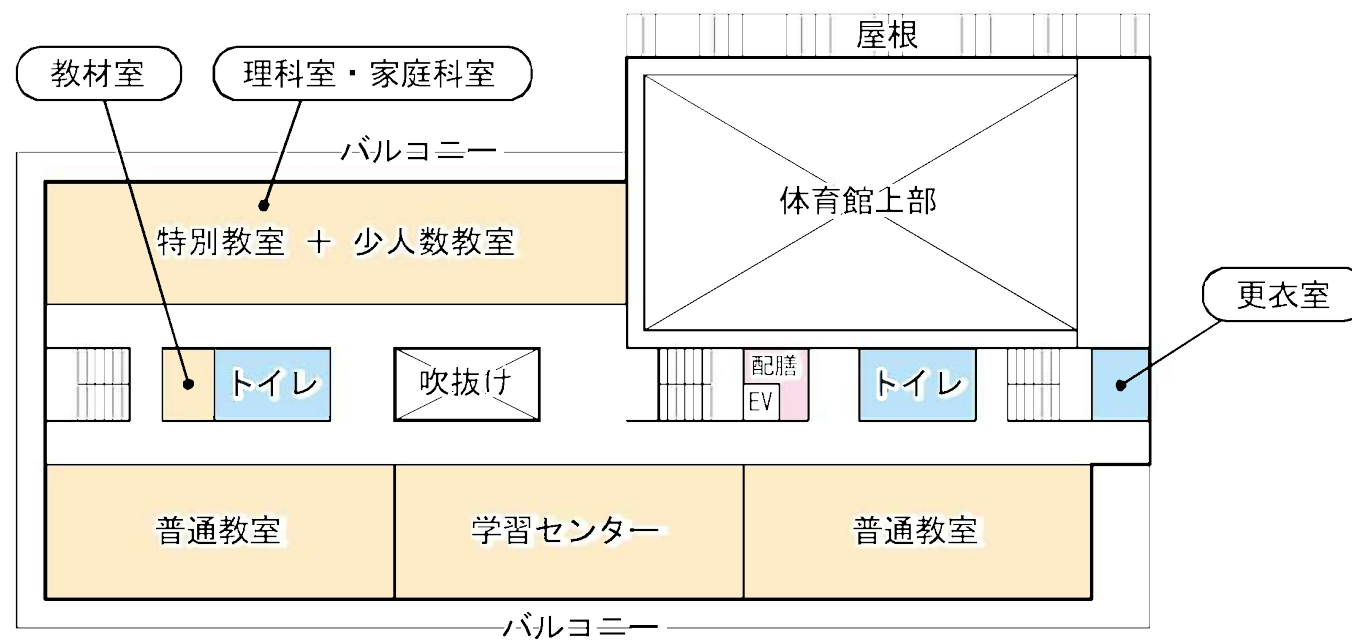
2階平面図



校長室は職員室の並びの方が良い
⇒ 職員室・校長室・印刷室をまとめて配置

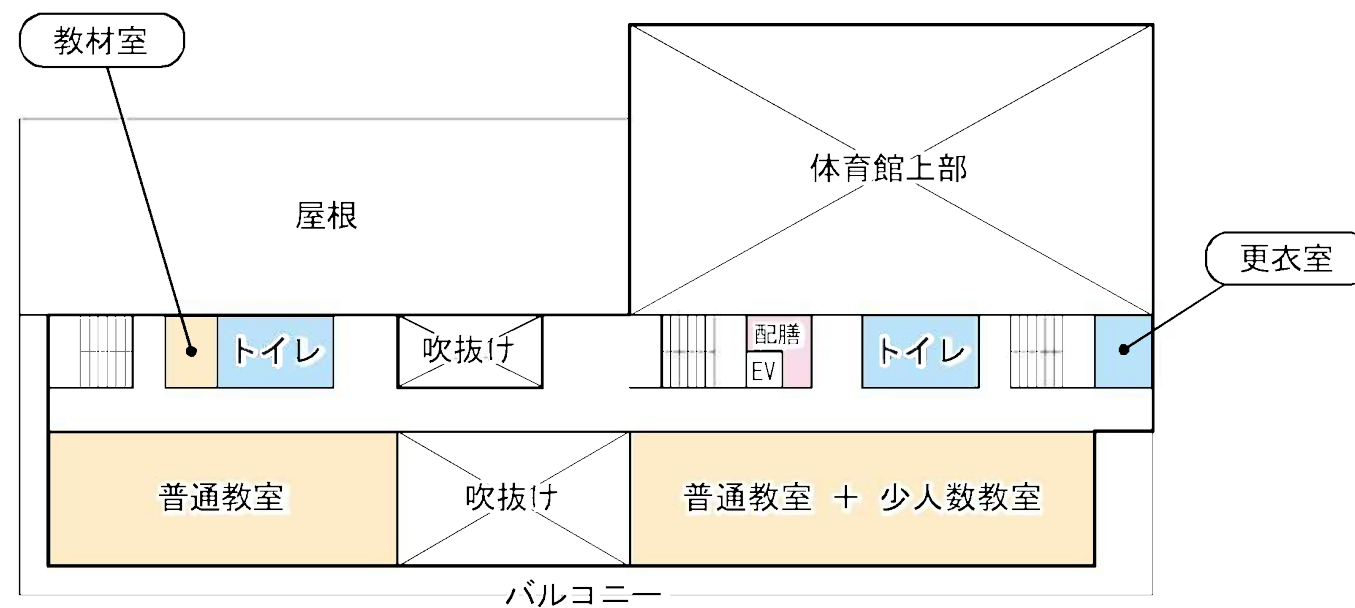
2. 新校舎ゾーニング（諸室配置 等）について

3階平面図



2. 新校舎ゾーニング（諸室配置 等）について

4階平面図



柴又地域統合小学校 改築基本構想・基本計画 (素案)

葛飾区

葛飾区教育委員会

目次

第1章 敷地条件及び既存建物等の現況調査

- 1-1 敷地概要.....
- 1-2 法的条件.....
- 1-3 周辺道路及び周辺環境.....
- 1-4 通学区域.....
- 1-5 既存校舎及び付属建物概要.....
- 1-6 記念樹等の状況.....
- 1-7 既存モニュメント等の状況.....
- 1-8 敷地周辺の騒音状況.....

第2章 基本構想

- 2-1 柴又地域一連の学校改築の方向性.....
- 2-2 学校統合及び学校改築の流れ.....
- 2-3 施設整備の基本方針.....
- 2-4 施設の機能向上に向けた取組.....

第3章 基本計画

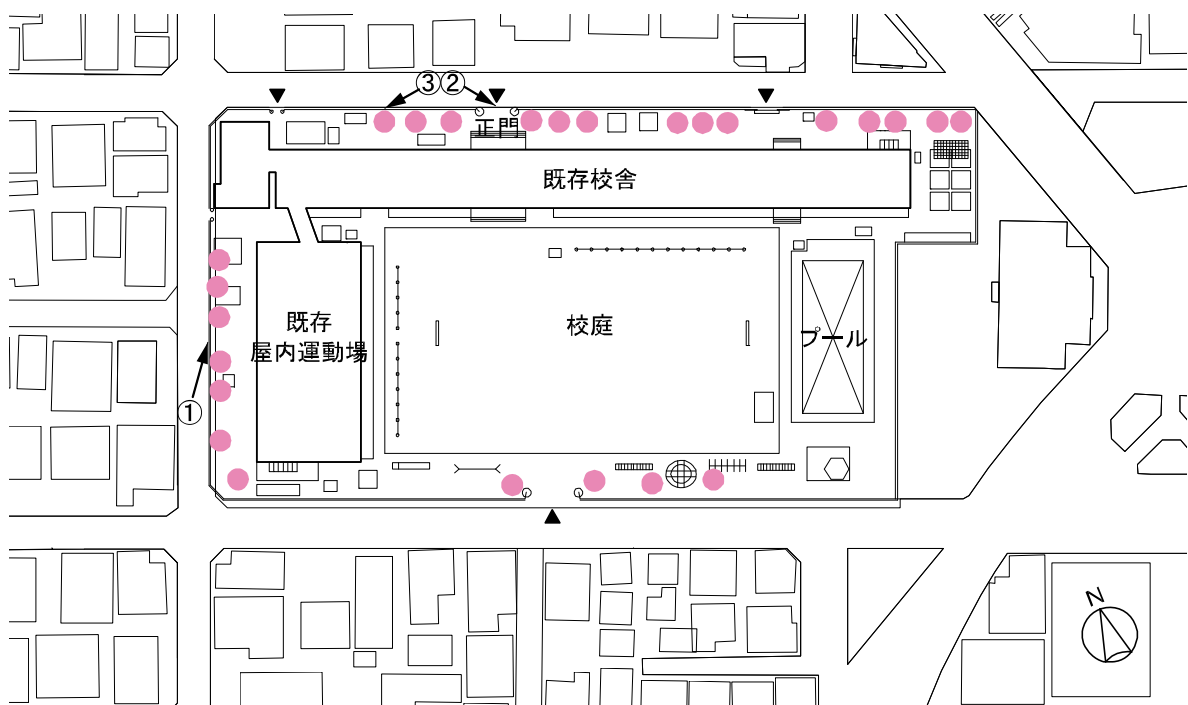
- 3-1 改築概要.....
- 3-2 配置比較表.....
- 3-3 ゾーニング案.....

第4章 検討体制

- 4-1 改築懇談会運営要綱.....
- 4-2 検討体制.....

1-6 記念樹等の状況

■柴又小学校



縮尺：1/1200



① さくら並木

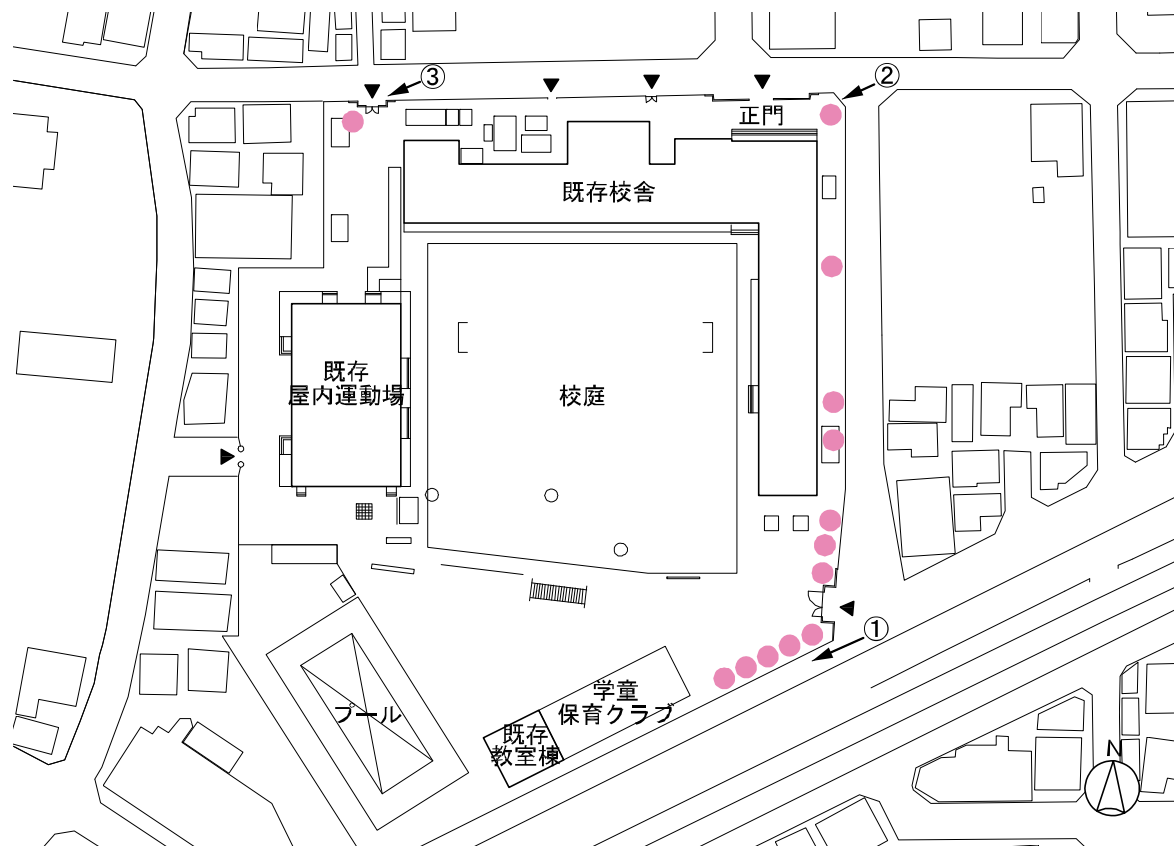


② さくら並木



③ さくら並木

■東柴又小学校



縮尺：1/1200



① さくら並木



② さくら

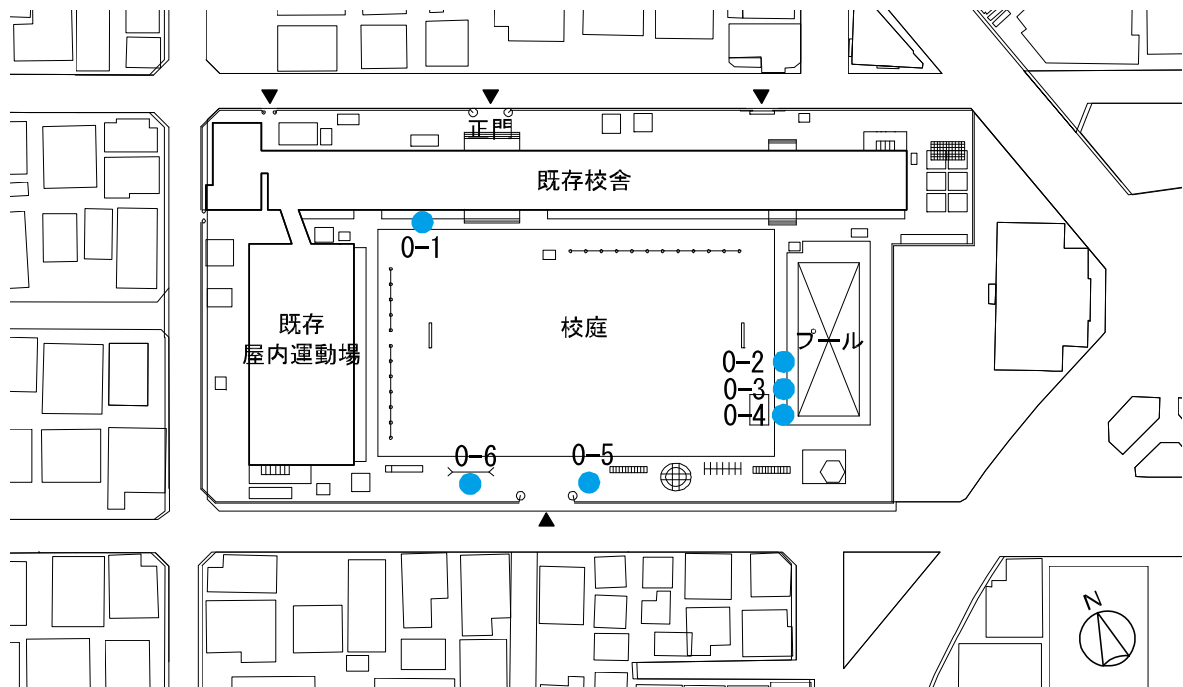


③ さくら

1-7 既存モニュメント等の状況

■柴又小学校

配置図



縮尺：1/1200



0-1 創立記念池



0-2 卒業生作品
シャッターペイント



0-3 卒業生作品
シャッターペイント



0-4 卒業生作品
シャッターペイント

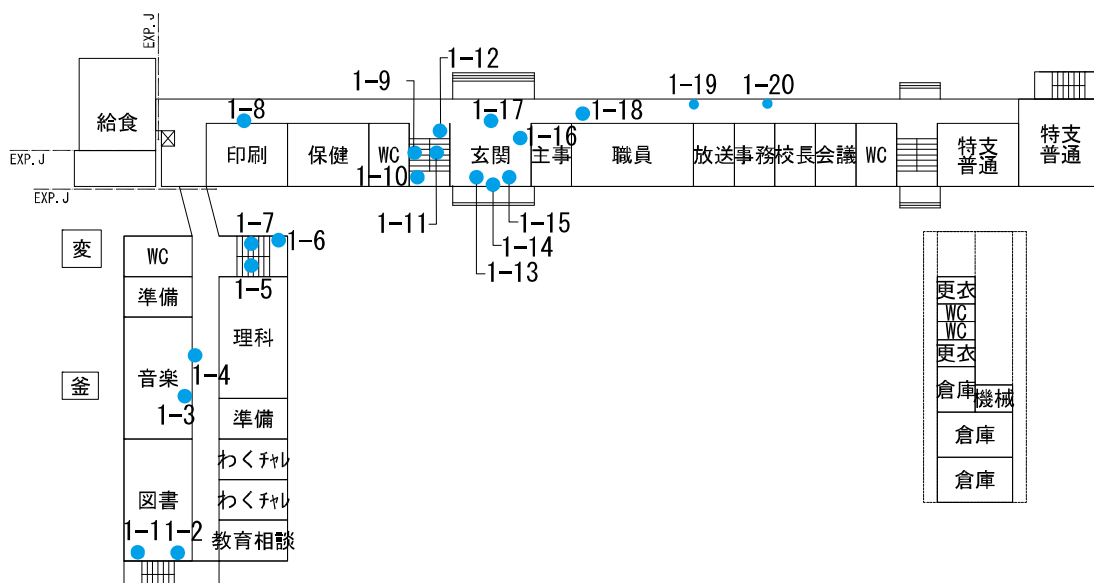


0-5 卒業生作品
レリーフ W1690×H1255



0-6 記念碑
W880×D880×H1169

1 階平面図



縮尺：1/800



1-1 卒業生作品
パッチワーク W3430×H1200



1-2 卒業生作品
パッチワーク W2430×H970



1-3 卒業生作品
70周年記念の歌 W2270×H930



1-4 卒業生作品
絵画 W3640×H640



1-5 卒業生作品
階段ペイント



1-6 卒業生作品
レリーフ W1550×H1250



1-7 卒業生作品
階段ペイント



1-8 航空写真



1-8 航空写真



1-9 卒業生作品
階段ペイント



1-10 卒業生作品
レリーフ W1815×H1400



1-11 卒業生作品
階段ペイント



1-12 卒業生作品
レリーフ W770×H1480×2



1-13 卒業生作品
鉢入れ D450×H400



1-14 卒業生作品
ガラスペイント



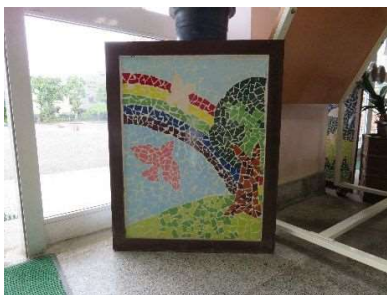
1-14 卒業生作品
ガラスペイント



1-14 卒業生作品
ガラスペイント



1-14 卒業生作品
ガラスペイント



1-15 卒業生作品
鉢入れ W640×H805×2



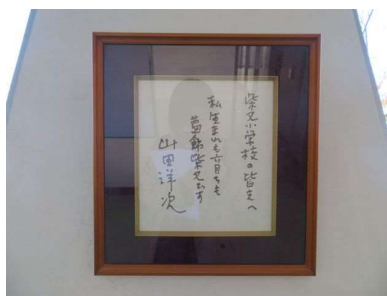
1-16 卒業生作品
こけし W800×H610×2



1-17 浦川原柴又交流記念・
学寮 W285×H1665×2



1-18 卒業生作品
室名看板(各室)

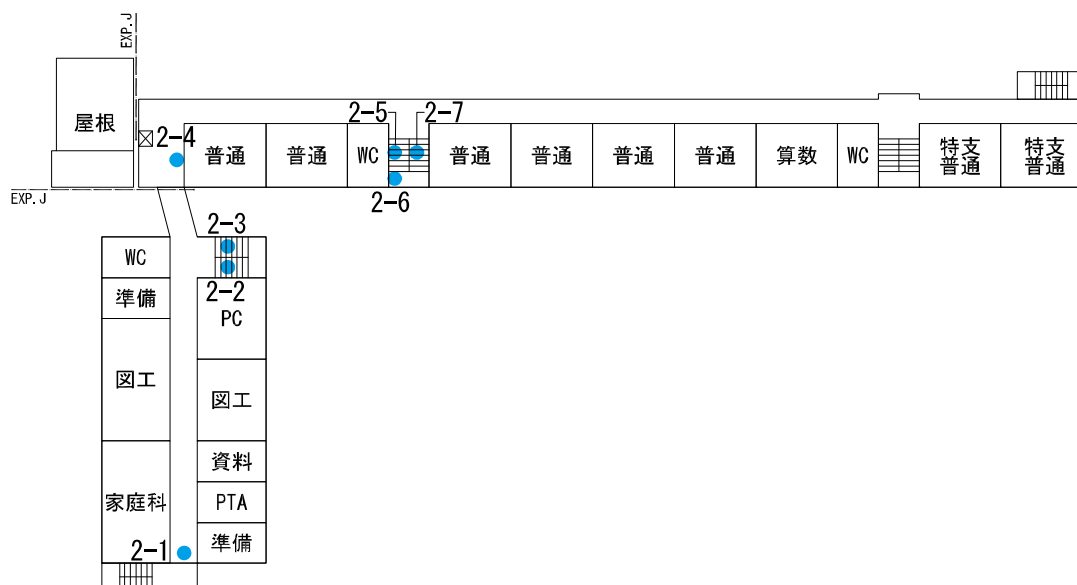


1-19 山田洋次氏色紙



1-20 渥美清氏色紙

2階平面図



縮尺：1/800



2-1 卒業生作品
箱 W900×D340×H685



2-2 卒業生作品
階段ペイント



2-3 卒業生作品
階段ペイント



2-4 浦川原関連資料



2-4 浦川原関連資料



2-5 卒業生作品
階段ペイント

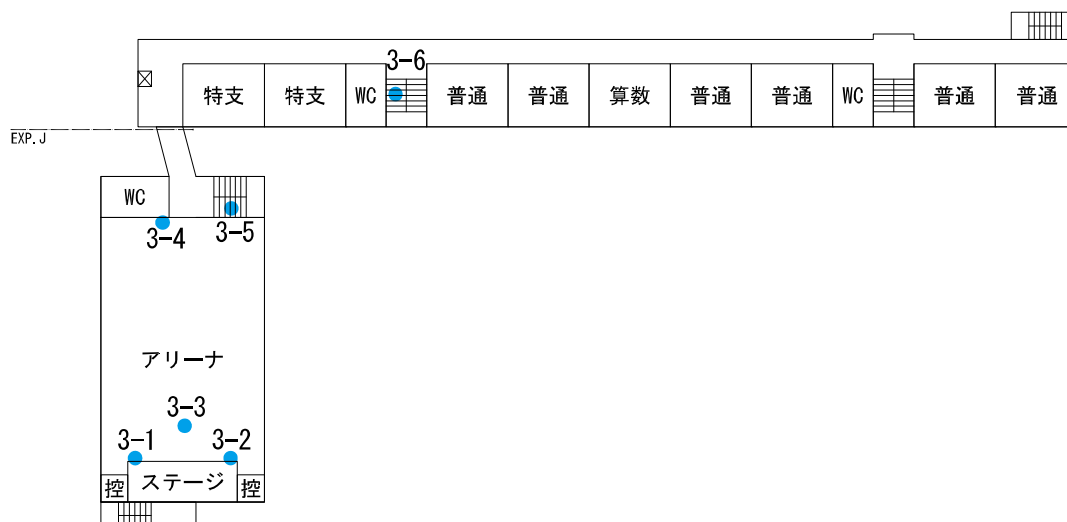


2-6 卒業生作品
レリーフ W1530×H1430



2-7 卒業生作品
階段ペイント

3階平面図



縮尺：1/800



3-1 区歌・校歌
W1870×H3070、W2690×H1725



3-2 50周年記念祝歌
W3725×H2335



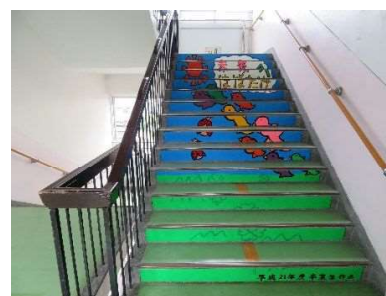
3-3 卒業生作品
跳び箱ペイント



3-4 卒業生作品
モザイクタイル



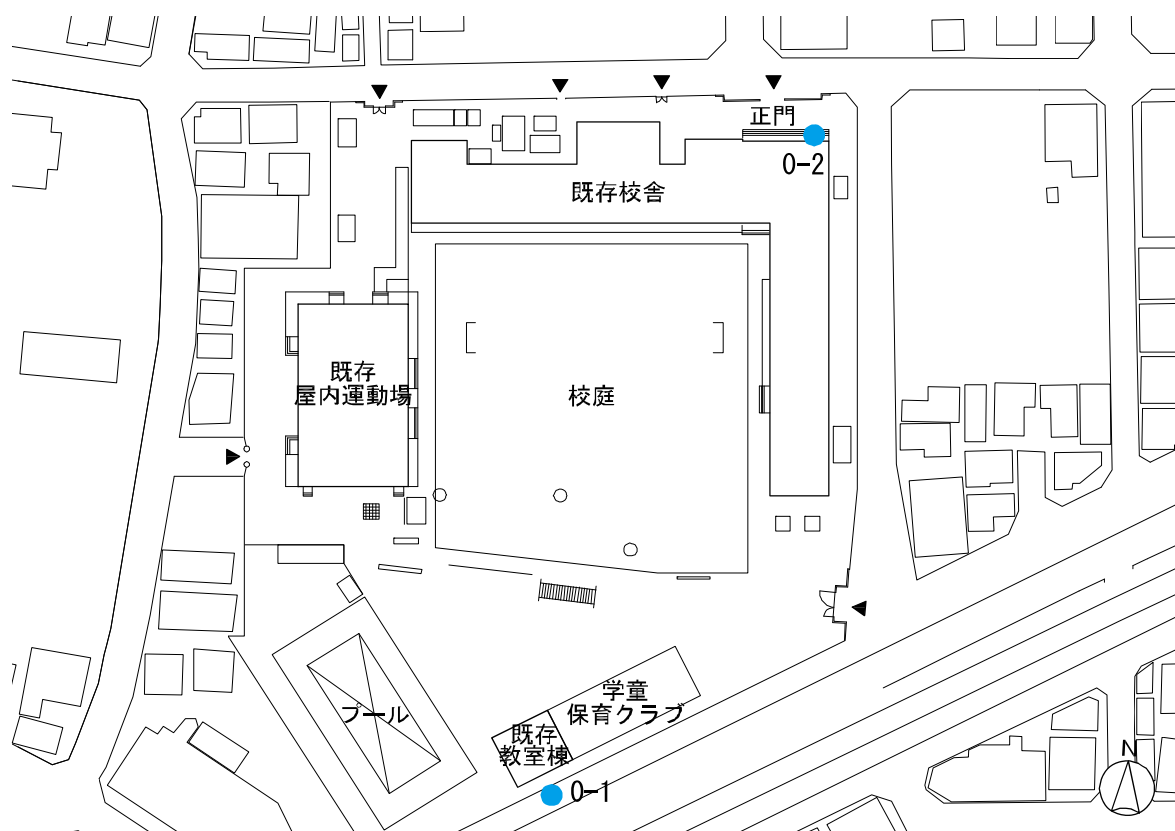
3-5 卒業生作品
階段ペイント



3-6 卒業生作品
階段ペイント

■東柴又小学校

配置図



縮尺：1/1200



0-1 卒業生作品
看板 W900×H900×11

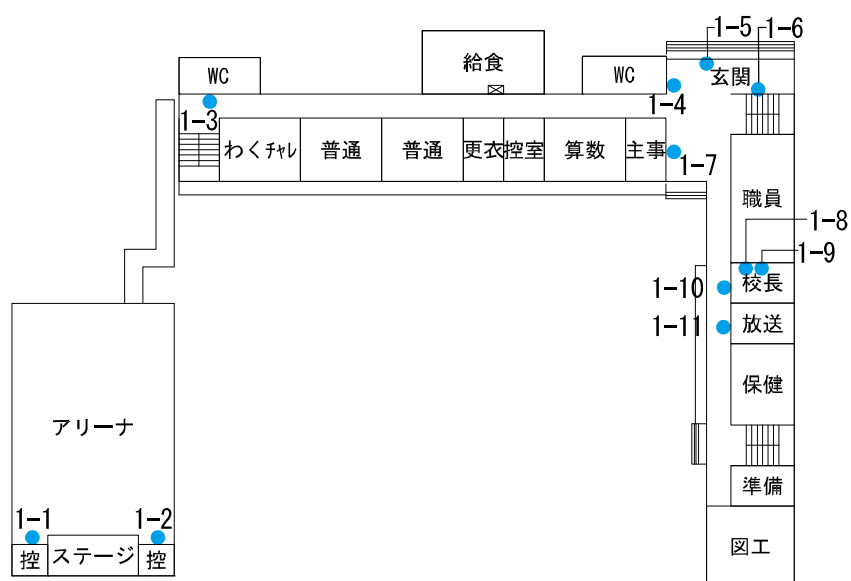


0-1 卒業生作品
看板 W900×H900×11



0-2 卒業生作品
タイルアート W3720×H1880

1 階平面図



縮尺：1/800



1-1 校歌



1-2 木彫
W1840×H1140



1-3 卒業生作品
タイル W1850×H1450



1-4 卒業生作品
絵画 W3340×H1120



1-5 卒業生作品
ガラスペイント



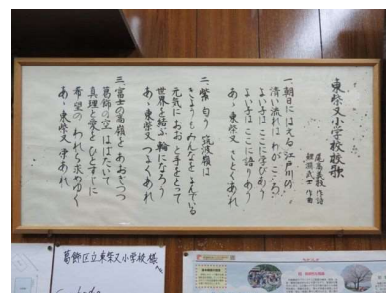
1-5 卒業生作品
ガラスペイント



1-6 卒業生作品
案内板 W1650×H1650



1-7 卒業生作品
レリーフ W4880×H910



1-8 直筆校歌



1-9 土地協力者一覧



1-10 卒業生作品
タイル W2220×H1120



1-11 航空写真

第2章 基本構想

作成中

区及び教育委員会では、子ども一人一人が生き生きと学び生きる力を培う学校教育を推進しており、魅力ある充実した学校づくりを進めています。

区内の学校施設は、その多くが昭和30～40年代に建築されたものであり、施設や設備の更新時期を迎える学校が今後も多く見込まれています。このため、教育環境の維持向上のため計画的な改築を進めており、柴又地域では柴又小学校が平成30年度に改築校に選定されました。

柴又小学校改築に関する検討は、令和3年度からスタートしましたが柴又小学校の敷地が狭く、工事エリアと学校運営エリアが近いことでの騒音・振動の影響や、外体育や外遊びの空間がなくなることにより、改築期間中の教育環境が厳しくなることが課題となりました。

また、東柴又小学校では近い将来に単学級が発生すること、桜道中学校は敷地内に高圧線がある影響から、他校の改築より長い工事期間を要することが懸念されているとともに、3校とも建築から50年を超え、改築などを検討する時期にきていました。

こうした課題解決のため、区及び教育委員会は、令和4年度に柴又地域一連の学校改築案を提案しました。

2-1 柴又地域一連の学校改築の方向性

作成中

柴又地域一連の学校改築案では、柴又小学校と東柴又小学校を統合して新校舎を建設し、その後、空いた小学校敷地を活用して桜道中学校の改築を行います。これにより改築工事が教育環境へ及ぼす影響を最小限に抑え、新しい時代の学びに適した学校施設を柴又地域の児童・生徒が等しく享受できる環境整備を目的としたものです。

この案の理解を得るべく、まず3校に通学する児童・生徒の保護者並びに、地域の方々を対象とした説明会を計10回開催し、様々な意見をいただきました。その後、3校の学校評議員などの地域代表者から組織する柴又地域学校改築懇談会を立ち上げ、説明会であがった意見を踏まえて地域の子どもたちの教育環境や、地域の拠点となる学校づくりについて様々な視点から検討を行いました。

その検討を踏まえ区及び教育委員会は、東柴又小学校敷地に統合小学校を建設後、一連の改築として桜道中学校を改築する流れを方向性とし、その内容を改めて保護者や地域の方々に報告しました。

2-2 学校統合及び学校改築の流れ

現在の柴又小学校校舎では統合後に必要な諸室を確保できないため、今は使用していないプール棟を解体し、令和8年度中に不足分を増築します。

その後、令和9年4月に柴又小学校と東柴又小学校の学校統合を行い、新校舎竣工までの間、柴又小学校敷地にて統合小学校の学校運営を行います。



学校統合及び学校改築の流れのイメージ

2-3 施設整備の基本方針

柴又地域学校改築懇談会並びに、方向性決定後に立ち上げた柴又地域統合小学校改築懇談会での意見を踏まえ、次のとおり施設整備の基本方針を定めます。

(1) 工事中の教育環境への影響低減

- ① 柴又小学校の校舎増築工事中でも、柴又小学校敷地内で外体育授業などができるようにします。
- ② 増築工事期間中は学校運営エリアと工事エリアが近接しますが、増築工事用車両出入口と学校運営用出入口を分けるなど、安全面に配慮します。
- ③ 統合小学校の新校舎建設中は、柴又小学校を活用して学校運営を行うことで、教育環境への工事の影響がないようにします。

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

- ① 学びのスタイルの変化に柔軟な対応ができるよう、目的に応じて間仕切りなどによる変更が行える部屋を整備します。
- ② 広い敷地を活かして校庭を大きくとり、子どもたちが多くの学びや遊びの機会に恵まれるようするとともに、校庭は日当たりの良い南側に配置し、日よけを設けるなどの熱中症対策を検討します。

(3) 地域の拠点となる学校づくり

- ① 全世代が使いやすい施設とするため、エレベーターやバリアフリースイレの設置、校内の段差解消など、ユニバーサルデザインを導入します。
- ② 地域の方が快適に利用できるよう、地域開放に配慮した諸室配置や管理機能を整備します。
- ③ 柴又の景観を損なうことのないよう、周辺環境と調和した、緑あふれる学校にします。
- ④ 浦川原小学校との交流やフロリズ通りフェスティバルへの協力など、柴又小学校・東柴又小学校で育まれた伝統を継承し、世代を超えて地域が繋がる学校をつくります。

作成中

2-4 施設の機能向上に向けた取組

柴又地域学校改築懇談会及び柴又地域統合小学校改築懇談会の意見を踏まえるとともに、「葛飾区立学校の改築に向けた指針」などに基づき、次のとおり施設の機能向上に向けた取組を定めます。

(1) 諸室機能の考え方

- ① 児童がグループ学習や全体での発表・討論などの学習方法で能動的に学ぶことができるようにするため、「普通教室」を拡大します。
- ② 児童が主体的に考え学ぶ自学自習を習慣付けられるようにするため、「学習センター（学校図書館）」を整備します。
- ③ 特別支援学級に通う児童一人一人の教育的ニーズに応じて、そのもてる力を高められるように、個別指導や小集団指導に対応できる環境を整備します。

(2) 快適で居心地の良い学校づくりの考え方

- ① 児童の「学びの場」とであるとともに、「生活の場」であるため、普通教室は日当たりの良い南面に配置します。
- ② 快適で居心地の良い空間をつくるため、自然採光や通風を確保し、室内の色彩や形状も工夫します。
- ③ 潤いのある落ち着いた環境をつくるため、豊かな緑を確保します。

(3) 安全・安心な学校づくりの考え方

- ① 地域の避難所としての機能を確保するため、災害時を考慮した諸室配置と防災機能の設備整備を行います。
- ② 水害時にも避難所機能を維持できるようにするため、体育館は2階以上とし、近接した場所には備蓄倉庫を配置します。
- ③ できるだけ死角を無くすようにするため、昇降口・職員室・保健室は、校庭全体を見渡せる位置に配置します。

(4) 維持管理に配慮した簡素で効率的な学校づくりの考え方

- ① ゼロエミッションかつしかの実現に向けて、「ZEB」を見据えた高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えるとともに、自然エネルギーの利用を進めます。
- ② 修繕や更新が容易な施設とするため、わかりやすく明快な諸室配置とし、長寿命・高耐久、維持管理の容易な部材・機材を採用します。
- ③ 清掃、点検・保守などの作業を効率的かつ容易にするため、設備関係諸室、配管スペースなどは、面積・形状、階高、各室の天井の高さを工夫します。

3-2 配置比較表

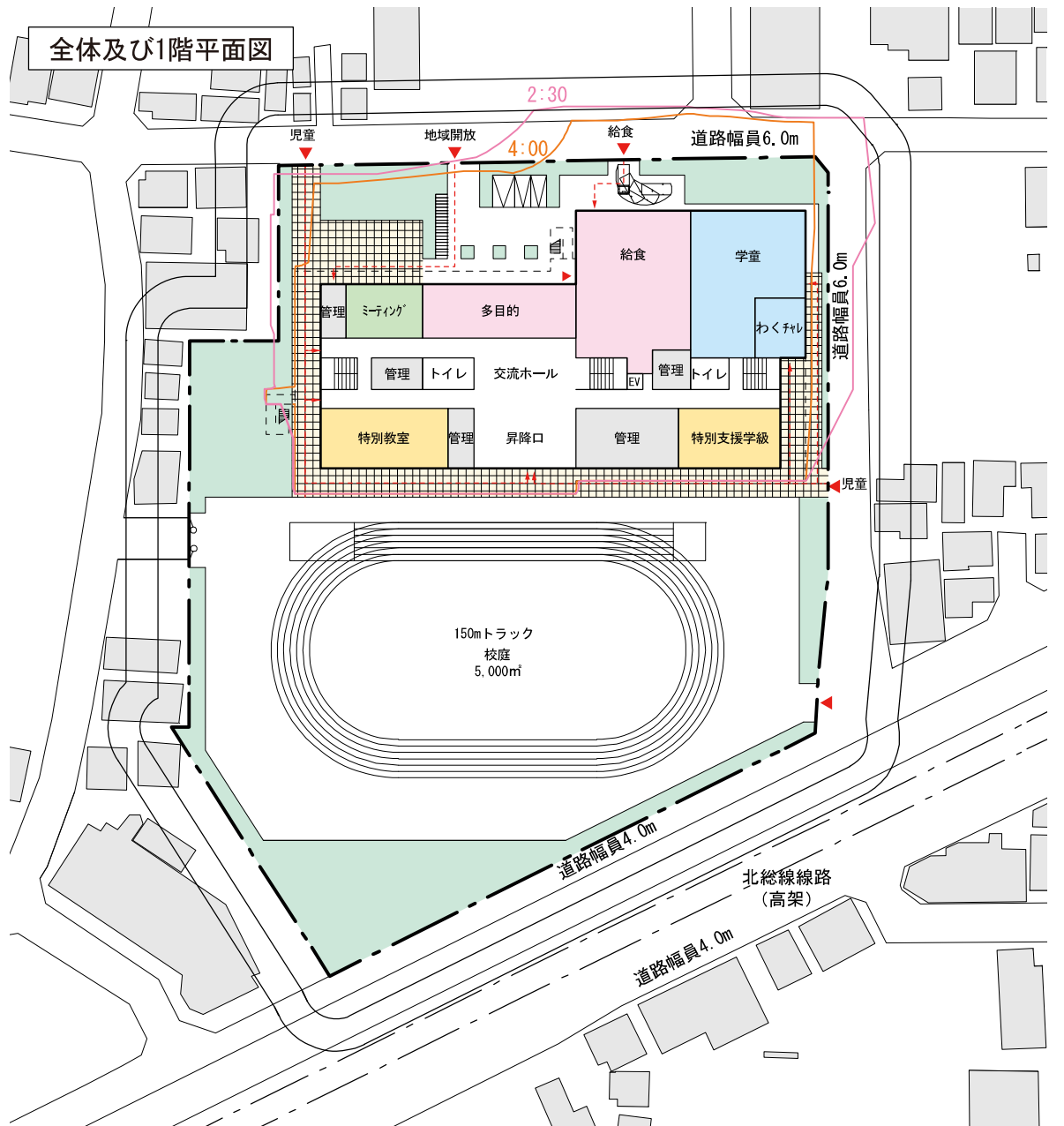
凡例		北側校舎配置案	南側校舎配置案	東側校舎配置案	北側3階校舎配置案
普通教室 その他の室 体育館 既存校舎 校庭 児童動線 出入口 敷地出入口 N					
改 築 後 の 教 育 環 境	校舎面積	約 8,000 m ²	約 8,000 m ²	約 8,000 m ²	約 8,000 m ²
	階数	4 階建て	4 階建て	4 階建て	3 階建て
	校舎の特徴	現校舎位置に新校舎を配置し、敷地南側に校庭を確保	敷地南側に新校舎を配置するとともに南側教室は道路に沿って配置 敷地北側に校庭を確保	敷地東側に南北軸の新校舎を配置し、敷地西側に校庭を確保	現校舎位置に新校舎を配置し、敷地南側に校庭を確保
	校庭の広さ	約 5,000 m ² (50m直線、150mトラック)	約 4,500 m ² (50m直線、150mトラック)	約 4,700 m ² (50m直線、150mトラック)	約 4,500 m ² (50m直線、150mトラック)
	校庭の特徴	・既存×約 1.3 倍の整形な校庭を確保できる ・トラック周りにもスペースを確保できる	・既存×約 1.2 倍の整形な校庭を確保できる ・トラック周りにもスペースを確保できる	・既存×約 1.2 倍の校庭を確保できるが南北に細長い形となる。 ・トラック周りに余裕がない	・既存×約 1.2 倍の整形な校庭を確保できる ・トラック周りにもスペースを確保できる
	校庭の日当たり	・敷地の南側に配置するため十分な日照を確保できる	・南側に配置した校舎の影響で校庭の一部に影が落ちる	・東側に配置した校舎の影響で校庭の一部に影が落ちる	・敷地の南側に配置するため十分な日照を確保できる
近隣への影響		・4 階建てではあるが、北側は 3 階までのボリュームに抑え、建物を一部セットバックしているため圧迫感が軽減される ・西側・南側はプールや教室棟がなくなるため圧迫感軽減、東側は同等 ・西側は新たに校庭に面するため音・粉塵の影響がある	・北側は圧迫感・日影が軽減されるが、新たに校庭に面するため音・粉塵の影響がある ・南側は、圧迫感が増大するが、道路や線路(高架)に面するため影響なし	・東側は圧迫感増大、日影に影響がある ・東側以外は新たに校庭に面するため音・粉塵の影響がある	・東側・北側の圧迫感は現状と同等 ・西側・南側はプールや教室棟がなくなるため圧迫感が軽減される ・西側は新たに校庭に面するため音・粉塵の影響がある
防災機能		体育館を 2 階に配置 体育館の近くに備蓄倉庫を配置	体育館を 2 階に配置 体育館の近くに備蓄倉庫を配置	体育館を 2 階に配置 体育館の近くに備蓄倉庫を配置	体育館を 2 階に配置 体育館の近くに備蓄倉庫を配置

配置の基本計画として北側校舎案を採用する。

- ・全ての普通教室を南側に配置することができる
- ・校庭の日当たりが良く、整形で広い校庭を確保できる
- ・線路から校舎までの離隔があり、電車の音の影響が少ない

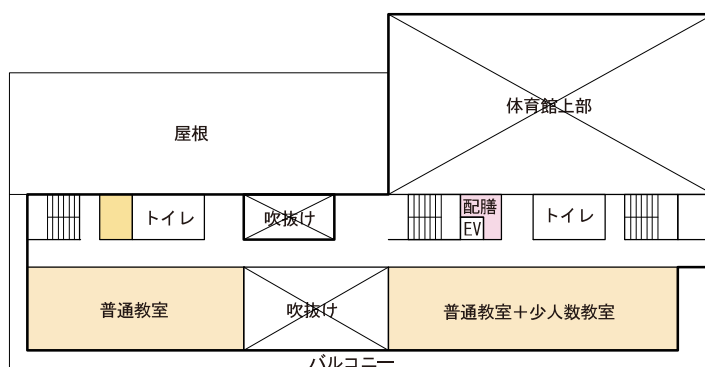
3-3 ゾーニング案

■新築校舎（東柴又小学校敷地）

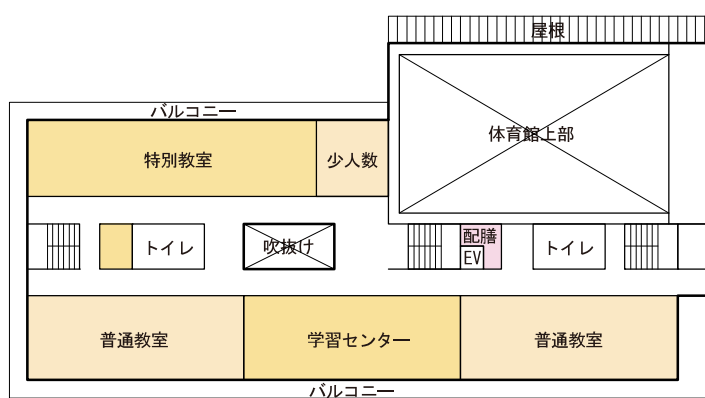


- ： 学習関係諸室（普通教室）
- ： 学習関係諸室（特別教室）
- ： 管理諸室
- ： 屋内運動場施設
- ： 生活交流空間
- ： 学童クラブ・わくわくチャレンジ広場

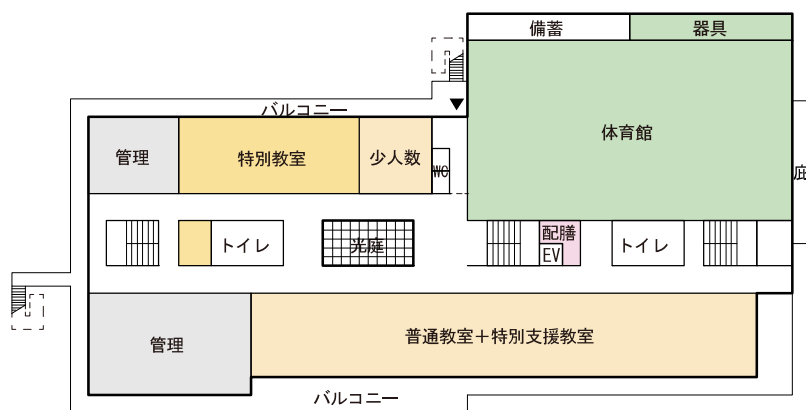




4 階平面図



3 階平面図



2 階平面図

- ： 学習関係諸室（普通教室）
- ： 学習関係諸室（特別教室）
- ： 管理諸室
- ： 屋内運動場施設
- ： 生活交流空間
- ： 学童クラブ・わくわくチャレンジ広場

0 10 50 (m)



柴又地域統合小学校改築懇談会 ～ 第5回 ～

令和7年3月19日（水）

葛飾区
葛飾区教育委員会

(1) 統合小学校の検討課題

【小学校統合にかかる主な検討事項（案）】

- ・ 学校名。 ○ ○

本日の検討事項

- ・ 校章

- ・ 校歌

- ・ 児童の交流イベント（令和8年度中の実施を想定）

今後の検討事項

(2) 新しい学校の校名選定方法

【検討案①】

検討内容		検討の流れ
学校名	パターン 1	①懇談会にて新しい校名案を募る ②案をもとに懇談会で議論、新校名案を選定
	パターン 2	①児童・地域等から校名案を公募 ②懇談会にていくつかに絞る ③絞った案から児童・地域等が投票形式で選定

(2) 新しい学校の校名選定方法

【検討案②】

検討内容		検討の流れ
学校名	パターン 3	①児童・地域等から校名案を公募 ②案をもとに懇談会で議論、新校名案を選定

(補足)

- ・過去には公募に際し、条件付け（「校名に柴又をつける」等）した事例があります。
- ・どのような検討となった場合も、検討内容を踏まえて教育委員会が新しい校名を決定します。

(2) 新しい学校の校名選定方法

【参考：東四つ木小学校（葛飾区）の場合】

検討内容	検討の流れ
学校名	①児童・地域等から校名案を公募 ②案をもとに懇談会で議論、新校名案を選定
校章・校歌	地域とゆかりのある方を選定・推薦のみ

(3) アンケートの実施

【アンケートご協力をお願い】

校名・校章・校歌の選定方法検討にあたり、委員の皆様の
お考えをお伺いいたします。

右下のQRコードもしくは、配布資料「選定方法に関する
アンケート」にて寄せください。



【締め切り】

令和7年3月28日（金）

ご協力お願いいたします。

選定方法に関するアンケート

お 名 前

新しい小学校校名の選定方法について、望ましいと思うものに丸印をお願いします。

パターン1 ・ パターン2 ・ パターン3 ・ その他

その他の校名選定のご提案があれば記入してください。

公募に際し、条件付けを希望する場合もこの欄に記入してください。

新しい小学校の校章に関する選定方法について、ご意見をお聞かせください。

新しい小学校の校歌に関する選定方法について、ご意見をお聞かせください。

そのほか、新しい小学校の検討課題について、ご提案があればお聞かせください。

【締切】 3月28日(金)

【回答方法】

下記のFAX番号へ送信いただくか、QRコードをスマホ等で読み取り、入力をお願いします。

FAX:03-5698-1536

柴又地域統合小学校改築懇談会事務局
施設部施設管理課学校施設計画担当係

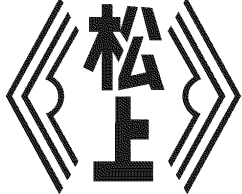
伊良波・福西 あて



葛飾区における過去の学校統合

統合年度	統合前	現在	統合方法
平成10年度	松上小学校 新小岩小学校	松上小学校	・新小岩小学校を松上小学校へ統合 ・統合後校舎は新小岩小学校校舎を活用
平成11年度	四ツ木小学校 西渋江小学校	よつぎ小学校	・四ツ木小学校校舎を活用 ・新小学校を開校
平成12年度	高砂小学校 明石小学校	高砂小学校	・明石小学校を高砂小学校へ統合 ・統合後校舎は高砂小学校校舎を活用
平成13年度	小松小学校 松南小学校	小松南小学校	・松南小学校を小松小学校へ統合 ・小松小学校校舎を活用 ・学校名を小松南小学校に変更
	小菅小学校 小谷野小学校	こすげ小学校	・小谷野小学校を小菅小学校に統合 ・統合後校舎は小菅小学校校舎を活用 ・学校名をこすげ小学校に変更
	堀切小学校 東堀切小学校	堀切小学校	・東堀切小学校を堀切小学校へ統合 ・統合後校舎は堀切小学校校舎を活用
令和7年度	渋江小学校 木根川小学校	東四つ木小学校	・渋江小学校校舎を活用し、新小学校を開校（仮校舎） ・新小学校開校後、木根川小学校敷地に新校舎を建設 ・新校舎竣工後は仮校舎から移転

統合校の校名・校章・校歌について

	松上小学校	よつぎ小学校	高砂小学校	小松南小学校	こすげ小学校	堀切小学校	東四つ木小学校
校名	①統合協議会で「新しい学校名」と「松上小学校」の2案に絞る ②統合協議会で議論を行い決定	①PTAで校名変更の希望有無に関するアンケートを実施 ②アンケート結果（新しい校名の希望多数）を踏まえ、統合協議会で「地名を使用した校名」とすることを決定 ③「四つ木小学校」と「よつぎ小学校」の2案に絞る ④各委員が無記名投票を行い決定	①統合協議会で「高砂小学校」を候補とすることを決定 ②各委員の異議なく決定	①統合協議会で「小松小学校」、「小松に他の文字を加えた校名」とすることを決定 ②「小松・小松南・南小松・下小松・新小松」の5案に絞る ③各委員が無記名投票を行い決定	①PTAで校名募集アンケートを実施 ②統合協議会で「小菅小学校」と「こすげ小学校」の2案に絞る ③各委員が無記名投票を行い決定	①統合協議会で「堀切小学校」とすることを決定（詳細不明）	①校名案を公募 ②懇談会委員による投票を行い決定
校章	 ①選定委員会（会長、副会長、両校PTA会長、両校校長）を設置し、デザイナーに案の作成を依頼 ②統合協議会で5案を2案に絞る ③選定委員会で両校の意見をヒアリング ④ヒアリング結果（A案の希望多数）を統合協議会に報告 ⑤統合協議会で決定	 ①選定委員会（会長、両校PTA会長、両校校長）を設置し検討 ②統合協議会委員（伝統工芸士）のデザイン案を統合協議会に報告 ③統合協議会で決定	 ①小委員会（両校PTA会長、両校校長）を設置し検討 ②高砂小学校の校章を使用することを統合協議会に報告 ③統合協議会で決定	 ①小委員会（会長、両校PTA会長、両校校長）を設置し検討 ②児童、保護者、地域の方からデザイン案を公募 ③小委員会で5案に絞る ④統合協議会で決定	 ①小委員会（会長、両校PTA会長、両校青少年委員、両校校長）を設置し検討 ②児童、保護者、地域の方からデザイン案を公募 ③統合協議会で4案に絞る ④各委員で無記名投票を行い決定	 ①小委員会を設置し検討（詳細不明） ②統合協議会で決定	 ①選定委員会（両校PTA会長、両校青少年委員、両校校長）を設置し検討 ②地域にゆかりのある漫画家「高橋陽一」氏にデザイン制作を依頼することを決定
校歌	①統合後に作成することについて、統合協議会で決定 ②作詞作曲家「荒井輝雄」氏に依頼し、統合年度の9月に完成	①選定委員会（会長、両校PTA会長、両校校長）を設置し検討 ②作曲家「團伊玖磨」氏・作詞家「滝沢政治」氏に依頼することを統合協議会に報告	①小委員会（両校PTA会長、両校校長）を設置し検討 ②高砂小学校の校歌を使用することを統合協議会に報告	①小委員会（会長、両校PTA会長、両校校長）を設置し検討 ②作曲家「鈴木行一」氏・作詞家「里乃塚玲央」氏に依頼することを統合協議会に報告	①作曲家・作詞家の選任については両校校長に一任することを統合協議会で決定 ②児童、保護者、地域の方から校歌に入れてほしい言葉を公募 ③作曲家「鈴木行一」氏・作詞家「風戸強」氏に依頼することを統合協議会に報告	①小委員会を設置し検討（詳細不明） ②作曲家「團伊玖磨」氏・作詞家「滝沢政治」氏に依頼することを決定	①選定委員会（両校PTA会長、両校青少年委員、両校校長）を設置し検討 ②地域にゆかりのある方に作詞作曲を依頼することを決定